

名古屋市感染症発生動向調査情報

2018年(平成30年)第52週(2018年12月24日～12月30日)

名古屋市感染症情報センター（名古屋市衛生研究所疫学情報部）2019年1月7日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における2018年第52週（12月24日～12月30日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数は22.00人/定点で、第51週の17.34人/定点から増加しました。
- 愛知県内では12月27日より警報の指標である定点当たり患者報告数「30」を上回る地域があったことから、インフルエンザ警報が発令されています。
- インフルエンザウイルスのうち、近年、国内で流行しているのは、AH1pdm09亜型（2009年に流行したインフルエンザ）、AH3亜型（いわゆる香港型）、B型（ビクトリア系統、山形系統）です。2018/19シーズンはこれまでにAH1pdm09亜型が全国的に多く検出されています。
- インフルエンザは例年1月から2月にかけて流行のピークを迎えます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるので注意が必要です。

〔風しん〕

- 第52週（12月24日～12月30日）の風しんの患者報告数は0人で、第52週までの風しんの累計患者報告数は58人となっています。また、全国の風しんの累計患者報告数は2,806人（第51週まで）になりました。
- 首都圏を中心に風しんの届出数が大幅に増加しており、特に30代から50代の男性で多くを占めています。患者の風しんワクチン接種歴は、「なし」または「不明」が90%以上を占めています。
- 妊娠初期の妊婦が感染すると、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性があります。
- 風しんの予防にはワクチン接種が有効であるため、過去に風しんにかかったことのない方や風しんの予防接種を受けたことのない方は、接種について検討が必要です。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の 17.3 人から 22.0 人に増加した。過去 3 年の同一週の平均との比較では、3.5 倍多い報告数になった。
- 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は、前週の 0.4 人から 0.5 人に増加した。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018 年 第 52 週	2 類	結核	8	• 男性、54 歳、肺結核 • 男性、41 歳、肺結核 • 男性、85 歳、肺結核 • 男性、92 歳、肺結核 • 男性、69 歳、肺結核 • 女性、92 歳、肺結核 • 女性、0 歳、無症状病原体保有者 • 男性、42 歳、無症状病原体保有者
2018 年 第 52 週	3 類	腸管出血性大腸菌 感染症	1	• 女性、23 歳、O157、VT2、感染地域：名古屋市
2018 年 第 52 週	4 類	レジオネラ症	1	• 男性、80 歳、肺炎型、感染地域：岐阜県
2018 年 第 52 週	5 類	急性脳炎	1	• 女性、1 歳、インフルエンザウイルス A
2018 年 第 52 週	5 類	後天性免疫不全症 候群	1	• 男性、29 歳、AIDS、感染経路：性的接触（異性間・同性間）、感染地域：国内
2018 年 第 52 週	5 類	侵襲性インフルエ ンザ菌感染症	1	• 男性、80 歳、菌検出検体：血液
2018 年 第 52 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感 染症	3	• 女性、79 歳、菌検出検体：血液 • 男性、71 歳、菌検出検体：血液 • 男性、0 歳、菌検出検体：血液
2018 年 第 52 週	5 類	梅毒	2	• 女性、24 歳、無症状病原体保有者 • 女性、29 歳、無症状病原体保有者

2018 年 第 52 週	5 類	百日咳	6	- 男性、46 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：国内（都道府県不明） - 女性、15 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 - 女性、11 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 - 男性、46 歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：愛知県 - 女性、25 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：愛知県・大阪府 - 女性、24 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市
------------------	-----	-----	---	---

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018 年 第 51 週	5 類	後天性免疫不全症候群	2	- 男性、37 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内 - 男性、21 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（異性間・同性間）、感染地域：国内
2018 年 第 51 週	5 類	梅毒	1	男性、30 歳、早期顕症梅毒（1 期）
2018 年 第 51 週	5 類	百日咳	1	女性、8 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市
2018 年 第 50 週	5 類	梅毒	1	男性、29 歳、早期顕症梅毒（1 期）
2018 年 第 50 週	5 類	百日咳	1	女性、16 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市
2018 年 第 49 週	5 類	梅毒	1	男性、46 歳、早期顕症梅毒（2 期）

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2018 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	571（134） [1] [1] 【1】
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	2
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	53（11）
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	1
4 類感染症	E 型肝炎	1
4 類感染症	A 型肝炎	24
4 類感染症	チクングニア熱	1
4 類感染症	つつが虫病	1
4 類感染症	デング熱	4
4 類感染症	日本紅斑熱	1
4 類感染症	マラリア	1
4 類感染症	レジオネラ症	52（1）
5 類感染症	アメーバ赤痢	28
5 類感染症	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）	2
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	58
5 類感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	8

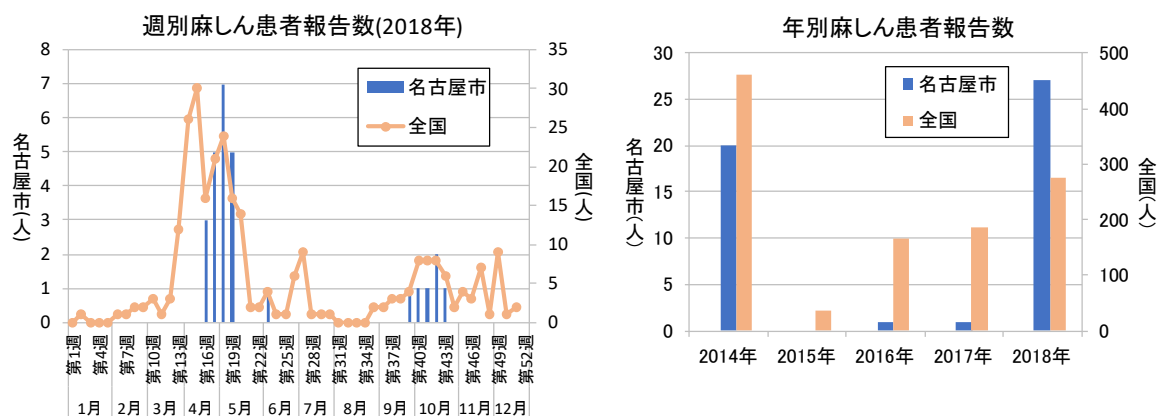
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	14
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	79 (60) <1>
5 類感染症	ジアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	76【1】
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	6
5 類感染症	梅毒	248 (82)
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	5
5 類感染症	破傷風	3
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2
5 類感染症	百日咳	126
5 類感染症	風しん	58
5 類感染症	麻疹	27

累計は 2018 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、< > 内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2019年1月7日作成〕



週別麻しん患者報告数(2018年)

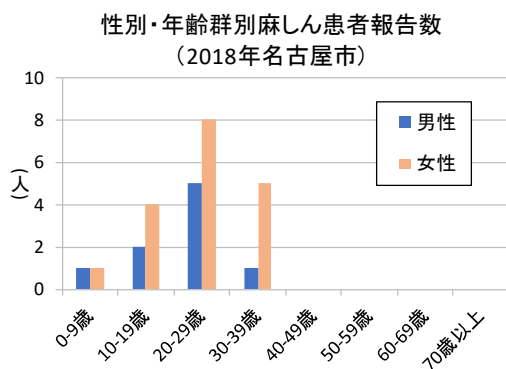
	第16週 (4/16～ 4/22)	第17週 (4/23～ 4/29)	第18週 (4/30～ 5/6)	第19週 (5/7～ 5/13)	第23週 (6/4～ 6/10)	第39週 (9/24～ 9/30)	第40週 (10/1～ 10/7)	第41週 (10/8～ 10/14)	合計(人)
名古屋市	3	5	7	5	1	1	1	1	27※
	第42週 (10/15～ 10/21)	第43週 (10/22～ 10/28)							
	2	1							

※第52週(12月30日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	274※3

※1: 第52週(12月30日)まで ※2: 12月21日時点 ※3: 第51週(12月23日)まで

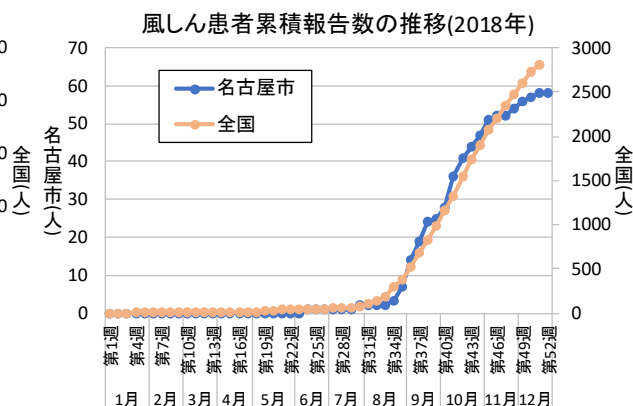
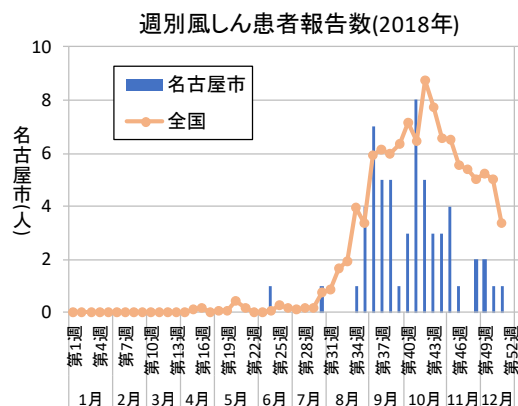


性別・年齢群別麻しん患者報告数(2018年名古屋市)

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計(人)
男性	1	2	5	1					9
女性	1	4	8	5					18

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2019年1月7日作成〕



週別風しん患者報告数(2018年)

名古屋市	第24週 (6/11～ 6/17)	第30週 (7/23～ 7/29)	第34週 (8/20～ 8/26)	第35週 (8/27～ 9/2)	第36週 (9/3～ 9/9)	第37週 (9/10～ 9/16)	第38週 (9/17～ 9/23)	第39週 (9/24～ 9/30)	合計(人)
	1	1	1	4	7	5	5	1	58※
	第40週 (10/1～ 10/7)	第41週 (10/8～ 10/14)	第42週 (10/15～ 10/21)	第43週 (10/22～ 10/28)	第44週 (10/29～ 11/4)	第45週 (11/5～ 11/11)	第46週 (11/12～ 11/18)	第48週 (11/26～ 12/2)	
	3	8	5	3	3	4	1	2	
	第49週 (12/3～ 12/9)	第50週 (12/10～ 12/16)	第51週 (12/17～ 12/23)						
	2	1	1						

※第52週(12月30日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

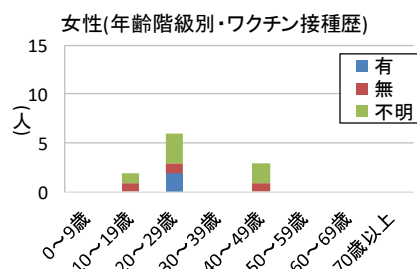
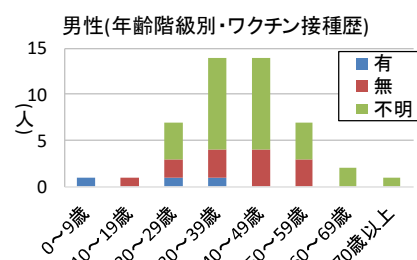
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	119※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	93	2806※3

※1: 第52週(12月30日)まで ※2: 12月21日時点 ※3: 第51週(12月23日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・ワクチン接種歴(2018年名古屋市)

		ワクチン接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳	1			1
	10～19歳		1		1
	20～29歳	1	2	4	7
	30～39歳	1	3	10	14
	40～49歳		4	10	14
	50～59歳		3	4	7
	60～69歳			2	2
	70歳以上			1	1
計(人)		3	13	31	47
女性	0～9歳				0
	10～19歳		1	1	2
	20～29歳	2	1	3	6
	30～39歳				0
	40～49歳		1	2	3
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		2	3	6	11
総計(人)		5	16	37	58



報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

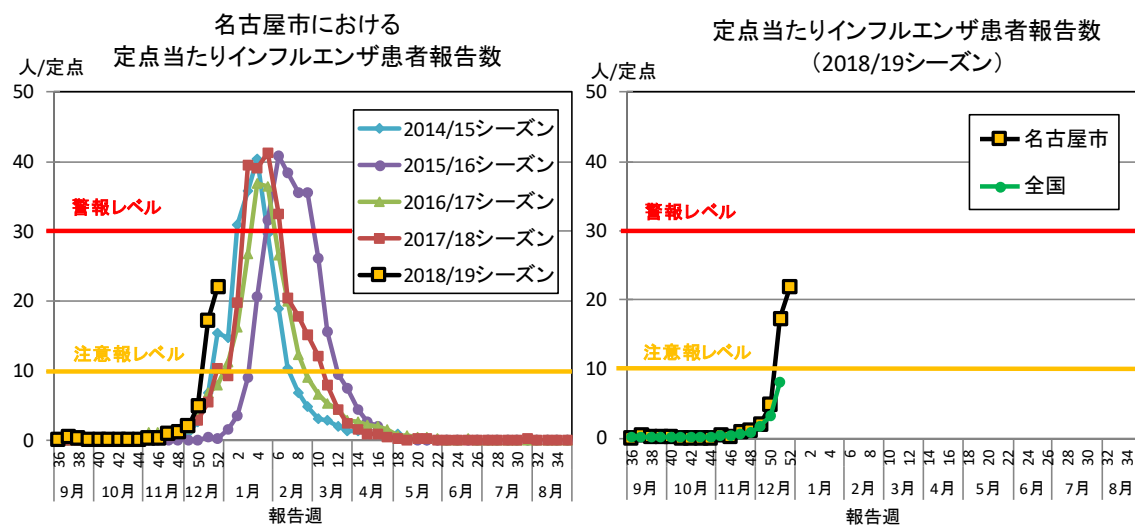
〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザ A 型 6 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 12 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 11 名 アデノウイルス性扁桃炎 3 歳女児@アデノウイルス性扁桃炎 36 歳女女性	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 12 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 10 名	定点医療機関（東区）
インフルエンザ A 型 2 名	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 71 名、臨床診断 8 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 10 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 8 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 21 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（中区）

インフルエンザA型	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：18名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：15名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：16名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：3名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：12名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型9名	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザA型：9名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：13名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：6名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型9名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型12名	定点医療機関（港区）
インフルエンザはすべてA型です。男性167名 女性139名	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、すべてA型です。男性6名 女性11名	定点医療機関（南区）

インフルエンザは、すべてA型です。男性 13 名 女性 13 名	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型 24人	定点医療機関（守山区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）
すべてインフルエンザ A 型でした	定点医療機関（名東区）
すべてインフルエンザ A 型でした	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型のみ 18 名	定点医療機関（天白区）

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数の推移：2019年1月7日作成〕



※名古屋市は第52週、全国は第51週までの報告数

定点当たり患者報告数(2018/19シーズン)

	第45週 (11/5～ 11/11)	第46週 (11/12～ 11/18)	第47週 (11/19～ 11/25)	第48週 (11/26～ 12/2)	第49週 (12/3～ 12/9)	第50週 (12/10～ 12/16)	第51週 (12/17～ 12/23)	第52週 (12/24～ 12/30)
名古屋市	0.44	0.30	1.00	1.16	2.04	4.86	17.34	22.00
愛知県	0.35	0.52	0.73	1.41	3.43	8.41	23.64	—
全国	0.35	0.38	0.52	0.93	1.70	3.35	8.05	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警戒の基準

※愛知県内では、平成30年12月12日より岡崎保健所管内で「10」を上回ったため「インフルエンザ注意報」が発令され、

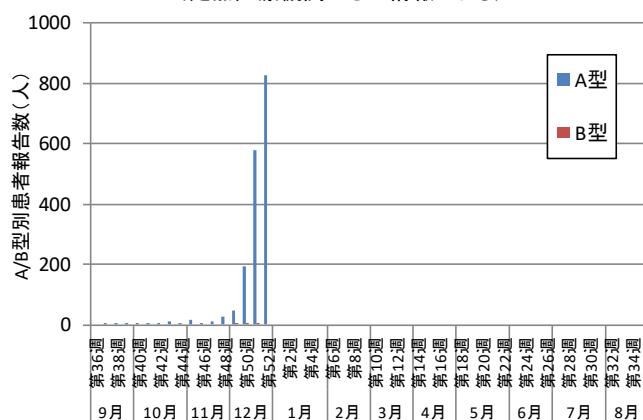
12月27日より「30」を上回る地域があったことから「インフルエンザ警戒」が発令されています。

※報告数は各週公表時における速報値

インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2018年第52週は、インフルエンザA型828人、インフルエンザB型0人でした。2018/19シーズンの累計では、インフルエンザA型1752人、B型5人となっています。

インフルエンザA/B型別患者報告数(2018/19シーズン) (定点医療機関からの情報による)



報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります

◆2018 年第 52 週 患者報告数（疾病区別）、定点あたり患者報告数（疾病区別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数(名古屋市)

2018年第52週(2018年12月24日～12月30日)

疾患	区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★ インフルエンザ		76	37	62	50	141	47	64	80	51	127	90	387	104	49	84	91	1540	1.3	3.5
○ RSウイルス感染症		1		1	3	4							5					14	0.8	0.3
○ 咽頭結膜熱		1	1	7	2								3	6		3	1	24	1.1	1.2
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	4	4	3	2	4			1	4	2	6	3		4	2	44	0.4	0.5
○ 感染性胃腸炎		24	11	31	34	30	11	21			22	46	27	30	15	16	27	345	0.7	0.8
○ 水痘		2			5	2	4				1	1	1	3	2	4	4	29	1.0	1.0
○ 手足口病					1						2					1		4	0.4	0.4
○ 伝染性紅斑								3						3		2	4	13	0.9	0.7
○ 突発性発疹		1	1	1	2						1				2	1		9	1.1	1.2
○ ヘルパンギーナ																2		2		3.0
○ 流行性耳下腺炎													1	1				2	1.0	0.4
△ 急性出血性結膜炎																		0		
△ 流行性角結膜炎		1						2							1		1	5	1.3	3.8
◇ 細菌性髄膜炎																		0		
◇ 無菌性髄膜炎																		0		
◇ マイコプラズマ肺炎								1										1	1.0	0.3
◇ クラミジア肺炎																		0		
◇ 感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																		0		
計		111	54	111	97	181	62	91	80	52	157	139	433	149	70	118	127	2032		

★ インフルエンザ定点数

○ 小児科定点数

△ 眼科定点数

◇ 基幹定点数

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

*過去3年の同週の平均値との比

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)											2018年第52週(2018年12月24日～12月30日)							
疾患	区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ		15.2	9.3	12.4	12.5	28.2	11.8	12.8	16.0	12.8	31.8	22.5	96.8	20.8	12.3	21.0	22.8	22.0
RSウイルス感染症		0.2		0.2	0.8	0.8							1.3			0.8	0.3	0.2
咽頭結膜熱		0.2	0.3	1.4	0.5								0.8	1.2		0.8	0.3	0.3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.0	1.0	0.8	0.8	0.4	1.0			0.3	1.0	0.5	1.5	0.6		1.0	0.5	0.6
感染性胃腸炎		4.8	2.8	6.2	8.5	6.0	2.8	4.2			5.5	11.5	6.8	6.0	3.8	4.0	6.8	4.9
水痘		0.4		1.0	0.5	0.8					0.3	0.3	0.3	0.6	0.5	1.0	1.0	0.4
手足口病					0.3						0.5					0.3		0.1
伝染性紅斑								0.6						0.8		0.5	1.0	0.2
突発性発しん		0.2	0.3	0.2	0.5						0.3			0.4	0.3			0.1
ヘルパンギーナ																0.5		0.0
流行性耳下腺炎													0.3	0.2				0.0
急性出血性結膜炎																		
流行性角結膜炎		1.0						2.0							1.0		1.0	0.5

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2018年第52週(2018年12月24日～12月30日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	4	20	59	54	42	65	55	53	63	57	39	163	77	155	162	180	133	74	49	36

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	4	4	4				1					1		
咽頭結膜熱		1	5	2	4	5	3	2		1		1		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	3	5	8	5	7	5	1	1	2	1	4
感染性胃腸炎	4	22	55	34	24	23	22	16	11	7	10	26	9	82
水痘			2		1	1	2	3	3		8	8		1
手足口病		1	1	1		1								
伝染性紅斑				1	1		3		4		1	2		1
突発性発しん		5	3	1										
ヘルパンギーナ	1				1									
流行性耳下腺炎							1					1		

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎			1			1									2				1

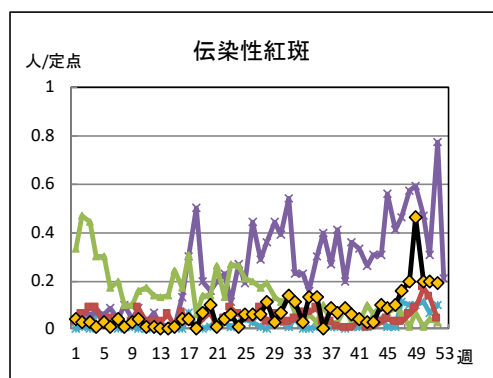
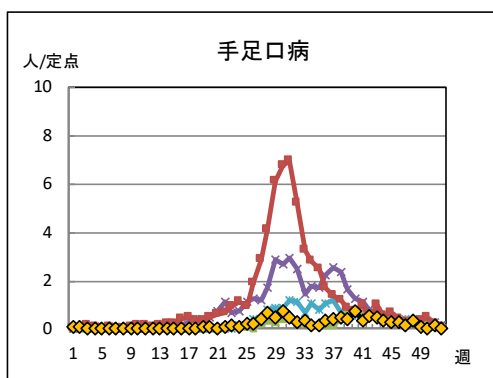
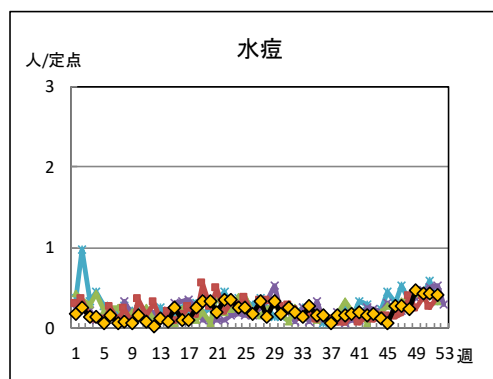
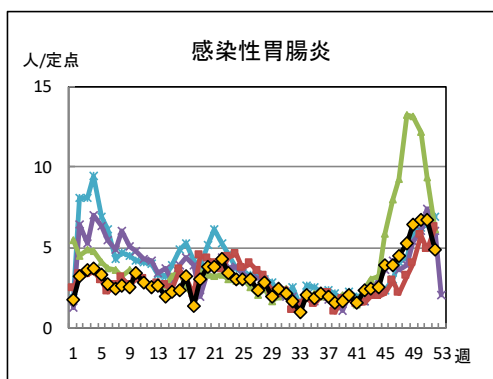
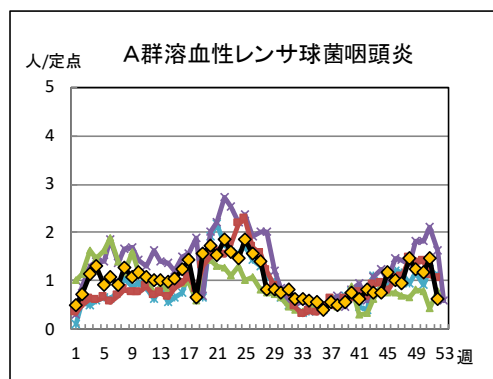
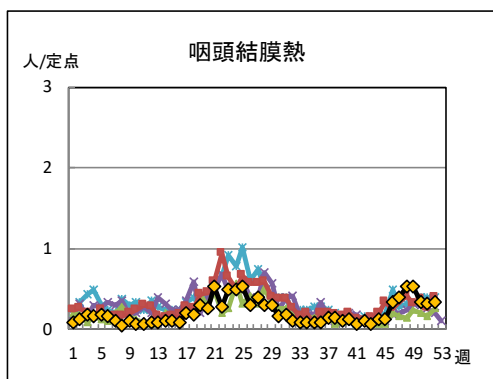
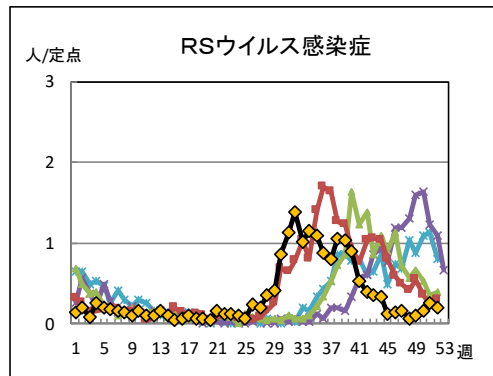
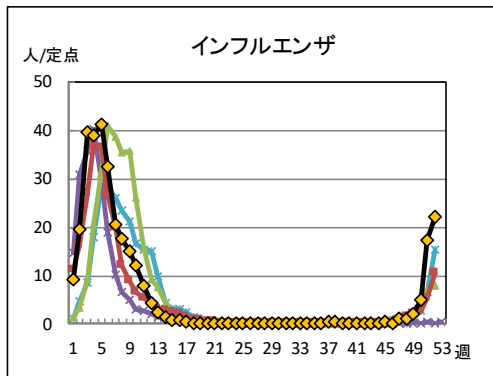
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎			1													
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3ヵ所)〕

【2018年第52週：1件】 【2018/2019シーズン累計数：4件】

- 男性、79歳

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2018年第52週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2018年第52週まで

